

問題 31 ソフトウェアの会計処理

以下の資料にもとづき、問1. 見込販売数量を基準に減価償却を行う場合、問2. 見込販売収益を基準に減価償却を行う場合の各年度のソフトウェア償却額の金額を求めなさい。

資料

- ×1年度期首に無形固定資産として計上したソフトウェア制作費は900,000円である。見込有効期間は3年であった。
- 販売時における見込販売数量および見込販売収益は以下のとおりであった。

	数量	単価	収益
×1年度	3,000個	280円	840,000円
×2年度	1,500個	260円	390,000円
×3年度	2,500個	167.2円	418,000円
合計	7,000個		1,648,000円

- 各年度の販売収益は、販売開始時の見込みどおり計上された。また、見込有効期間に変更はなかった。
- 計算過程で端数が生じた場合には、円未満を四捨五入する。

問1.

	償却額
×1年度	円
×2年度	円
×3年度	円

問2.

	償却額
×1年度	円
×2年度	円
×3年度	円

解答

問1.		償却額
	×1年度	385,714円
	×2年度	257,143円
	×3年度	257,143円

問2.		償却額
	×1年度	458,738円
	×2年度	220,631円
	×3年度	220,631円

解説

ソフトウェア償却額 $\left\{ \begin{array}{l} \rightarrow (1) \text{見込販売数量(収益)にもとづく償却額} \\ \rightarrow (2) \text{残存有効期間にもとづく均等配分額} \end{array} \right\}$ のいずれか大きい額。

問1.

×1年度

$$\left\{ \begin{array}{l} (A) \text{見込販売数量にもとづく償却額} \\ = 900,000 \text{円} \times \frac{3,000 \text{個}}{3,000 \text{個} + 1,500 \text{個} + 2,500 \text{個}} \doteq 385,714 \text{円} \\ (B) \text{残存有効期間にもとづく均等配分額} = 900,000 \text{円} \div 3 \text{年} = 300,000 \text{円} \\ (A) > (B) \quad \therefore (A) \text{見込販売数量にもとづく償却額を計上します。} \end{array} \right.$$

×2年度

$$\left\{ \begin{array}{l} (A) = (900,000 \text{円} - 385,714 \text{円}) \times \frac{1,500 \text{個}}{1,500 \text{個} + 2,500 \text{個}} \doteq 192,857 \text{円} \\ (B) = (900,000 \text{円} - 385,714 \text{円}) \div 2 \text{年} = 257,143 \text{円} \\ (A) < (B) \quad \therefore (B) \text{残存有効期間にもとづく均等配分額を計上します。} \end{array} \right.$$

×3年度

残額を償却します。900,000円 - (385,714円 + 257,143円) = 257,143円

問2.

×1年度

$$\left\{ \begin{array}{l} (A) \text{見込販売収益にもとづく償却額} \\ = 900,000 \text{円} \times \frac{840,000 \text{円}}{840,000 \text{円} + 390,000 \text{円} + 418,000 \text{円}} \doteq 458,738 \text{円} \\ (B) \text{残存有効期間にもとづく均等配分額} = 900,000 \text{円} \div 3 \text{年} = 300,000 \text{円} \\ (A) > (B) \quad \therefore (A) \text{見込販売収益にもとづく償却額を計上します。} \end{array} \right.$$

×2年度

$$\left\{ \begin{array}{l} (A) = (900,000 \text{円} - 458,738 \text{円}) \times \frac{390,000 \text{円}}{390,000 \text{円} + 418,000 \text{円}} \doteq 212,985 \text{円} \\ (B) = (900,000 \text{円} - 458,738 \text{円}) \div 2 \text{年} = 220,631 \text{円} \\ (A) < (B) \quad \therefore (B) \text{残存有効期間にもとづく均等配分額を計上します。} \end{array} \right.$$

×3年度

残額を償却します。900,000円 - (458,738円 + 220,631円) = 220,631円